

令和7年度 瀬戸将棋文化振興協会 事業計画 (令和7年7月1日～令和8年6月30日)

1 普及啓発事業

将棋文化の継承と瀬戸市における普及啓発を図る。

公益社団法人日本将棋連盟の支部としての情報発信

将棋連盟全般の動き、全国支部将棋対抗戦・名人戦など、支部としての参加及び情報発信の充実を図る。

子どもたちを中心に、市民の将棋に対する意識の向上、将棋に親しむ人の拡大を図る。

① 瀬戸こども将棋大会2025

- ・開催日時：令和7年8月17日（日）午後1：00～
- ・第7回目にあたる「こども将棋大会」として瀬戸市文化センター文化交流館で開催予定
- ・小学2年生以下、小学3・4年生、小学5・6年生、中学生の4クラス、募集定員は各クラス32名

② 第23回 詰将棋解答選手権 瀬戸会場

- ・開催日時：令和8年4月（詳細未定）
 - ・全国的に開催される詰将棋解答選手権の瀬戸会場として、令和7年4月に開催した第22回に引き続き開催予定
 - ・「初級戦」「一般戦」で開催
- ※瀬戸将棋愛好会との連携事業

2 人材育成事業

将棋文化の普及・技術の向上を図るとともに、将棋を通じた交流や情報交換によって人材育成を図る。

①こども将棋大会における将棋指導

- ・毎年開催する「瀬戸こども将棋大会」にプロ棋士を招聘し、参加者を対象とした指導対局を実施する。
- ・指導対局として、東海地方出身棋士を中心に、棋士5名参加予定
木村一基九段、柵木幹太四段、竹内貴浩指導棋士五段、室田伊緒女流三段、中澤沙耶女流二段

②市内小中学校における将棋指導

- ・市内小中学校と連携し夏休みの教育活動等にプロ棋士等を派遣し将棋指導を実施する。（※日本将棋連盟の支部として、連盟の棋士派遣制度を活用）
- ※令和7年7月22日（火）效範小学校において杉本昌隆八段が指導

3 広報・宣伝事業

協会ホームページ、広報せと等を活用し、瀬戸将棋文化振興協会、瀬戸市の将棋文化振興に係る情報を積極的に発信するなど、広報・宣伝活動の充実を図る。

①協会の活動、瀬戸市の将棋に関する取り組み、地元棋士に関する情報発信。

②将棋キャラクターの活用

- ・協会の活動や「将棋」に親しみを感じてもらい、将棋の普及啓発につなげるため、瀬戸市出身の漫画家である中島みるく氏により制作された将棋キャラクターである「瀬戸将太郎くん 瀬戸将子ちゃん」を積極的に活用する。

4 地元棋士応援事業

瀬戸市にゆかりのあるプロ棋士の活躍を、市内を中心に広く知らせ、市民等による応援気運の醸成を図る。

①地元棋士の応援活動

地元棋士のタイトル戦などにおいて、応援活動を実施し、合わせて、お祝いのくす玉開きなどを実施することで、将棋文化の普及啓発につなげる。また、状況に応じて、瀬戸市が開催するパブリックビューイングに協力する。

②瀬戸市立図書館における将棋コーナー展示協力（リニューアル工事のため休館中）

瀬戸市立図書館には、地元棋士の活躍、瀬戸こども将棋大会に参加いただいた棋士の紹介などが展示されており、この展示の充実に協力する。

5 その他

・会員向け記念品の作成

※将棋キャラクターの活用

・「瀬戸市」との連携

○平成28年（2016年）10月に藤井聡太竜王・名人が史上最年少でプロ棋士となり、これを契機に、地元である「瀬戸市」では、将棋に関する関心が高まっている。

○市では、平成30年（2018年）3月に「瀬戸市民栄誉賞」を授与し、令和5年（2023年）11月に「瀬戸市名誉市民」に推挙した。

○平成30年（2018年）からは、日本将棋連盟が主催する「（将棋文化振興自治体）全国将棋サミット」に参画している。

○令和7年（2025年）に（仮称）「将棋文化振興モニュメント」を建設中。

⇒こうした経緯の中、今後、更なる将棋文化の振興が図られるため、当協会として、連携を図る。

・瀬戸将棋愛好会との連携

詰将棋解答選手権をはじめ、瀬戸における将棋文化の普及啓発事業について、瀬戸将棋愛好会との連携を図る。

令和 7 年度瀬戸将棋文化振興協会収支予算書
(令和 7 年 7 月 1 日～令和 8 年 6 月 3 0 日)

【収入】

(単位：円)

項 目	本年度予算額	前年度予算額	備 考
会費	3,570,000	3,541,000	正会員501名（一般268名、女性233名） 賛助会員63企業・団体（103口）（2025.6末）
負担金	500,000	1,500,000	文化振興財団負担金（協会事業運営等）
補助金	516,000	500,000	瀬戸信用金庫地域振興協力基金、瀬戸市愛知万博20周年記念事業助成金（瀬戸こども将棋大会2025）
事業協賛金	1,000	1,000	企業協賛金
寄付金	1,000	1,000	一般寄付
事業収入	171,000	171,000	こども将棋大会、詰将棋解答選手権参加料
雑収入	1,000	1,000	預金利息等
繰越金	2,518,766	1,646,845	前年度繰越金
合 計	7,278,766	7,361,845	

【支出】

(単位：円)

項 目	本年度予算額	前年度予算額	備 考
謝礼	10,000	10,000	将棋指導等謝礼（学校棋士派遣等）
報償費	980,000	850,000	こども将棋大会、詰将棋解答選手権賞品、参加記念品、会員記念品等
消耗品費	200,000	500,000	事務用消耗品
印刷製本費	100,000	100,000	PRチラシ・ポスター等
賄費	50,000	50,000	お茶代等
手数料	400,000	400,000	HPレンタルサーバー代、応援幕作成等
備品費	30,000	30,000	備品等
通信運搬費	500,000	680,000	郵便料金、送料、電報料金等
委託料	3,000,000	3,000,000	瀬戸こども将棋大会2025、詰将棋解答選手権運営等
負担金	1,913,000	1,600,000	日本将棋連盟支部会費、愛知県支部連合会会費、文化協会会費、観光協会会費等
雑費	95,766	141,845	つり銭等
合 計	7,278,766	7,361,845	